

# 明治時代～

## 総合問題

**10** 次のA～Cの文章を読み、あとの各問いに答えよ。

A 戊辰戦争が続く中で、新政府は無血開城後の江戸城に入り、翌1869年3月には首都を京都から東京へ移した。この間、新政府は政治の刷新を進め、1869年1月には、版籍奉還を4藩主に出願させ、<sup>①</sup>半年後、全藩主に強制して、中央集権化に着手した。<sup>②</sup>さらに2年後には廃藩置県を断行し、中央から府知事や県令を任命・派遣して中央集権化を達成した。

新政府は中央集権化の達成とほぼ同時に、軍事制度と財政の確立にも着手した。軍事制度については、1871年からその整備を進め、1873年1月に徴兵令を公布して近代の軍隊を創設した。<sup>③</sup>1873年11月には内務省も新設され、<sup>④</sup>全国の警察組織を統括するようになった。そうした中で、旧武士階級への秩禄（家禄・賞典禄）の支出が新政府にとって過重な負担となり、その処分が緊急の課題となった。この課題は1876年の秩禄の全廃で解決されたが、<sup>⑤</sup>秩禄の全廃は士族の特権が有償で奪われたことを意味するものであった。

問1 下線部①に関する記述として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 新政府は五箇条の誓文を公布し、開国和親などの基本方針を示した。
- イ. 新政府は新貨条例を定め、通貨の基準を円・銭・厘とした。
- ウ. 新政府は暦法を改正し、太陽暦を採用した。
- エ. 新政府は政体書を制定して太政官を設置し、三権分立制を形式的にとり入れた。

問2 下線部②に関する記述として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 版籍奉還後、旧大名が知藩事に任命された。
- イ. 版籍奉還に伴って、士族で構成される藩兵が解体された。
- ウ. 版籍奉還に伴って、藩の徴税権は新政府に移された。
- エ. 版籍奉還後も、藩の財政と藩主の家禄は未分離のままであった。

問3 下線部③に関する項目として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 戸主や官吏や学生も兵役の対象
- イ. 満20歳に達した男子が兵役の対象
- ウ. 兵役に服する期間は1年間
- エ. 代人料500円の納入者は兵役免除

問4 下線部④と最も関係の深い人物を、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 西郷隆盛
- イ. 大隈重信
- ウ. 大久保利通
- エ. 木戸孝允

問5 下線部⑤の秩禄の全廃（秩禄処分）の際、その代償として、それまでの秩禄の受給者全員に与えられたものは何か。漢字6字以内で記せ。

B 新政府は、近代化の基盤として運輸・通信・銀行などの制度や仕組みを整備し、<sup>⑥</sup>さらに、お雇い外国人らの指導のもとに近代産業を自ら経営して、殖産興業に努めた。当初、<sup>⑦</sup>それらの財源は主に農民から徴収する年貢であったが、年貢は旧藩ごとに税額が違い、米の作柄によって年々変動したので、土地制度や税制の改革を行って財源を安定させる必要があっ

た。そこで、新政府は1872年に地券を発行し、地券によって地主や自作農の土地所有権をはっきり認めた。地租改正は翌1873年、準備の整った地域から着手され、全国に及んだ。その結果、政府財政の基礎は固まり、地主・自作農の土地所有権が確立した。

問6 下線部⑥に関する記述として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 海運では、岩崎弥太郎が経営していた三菱を官営事業に吸収した。
- イ. 通信では、前島密の建議によって、飛脚に代わる郵便制度を創始した。
- ウ. 金融では、官営の第一国立銀行などを設立した。
- エ. 電信では、電信線が東京・横浜間に架設され、20年後に海底電線が敷設された。

問7 下線部⑦に関する事項の正しい組合せを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 北海道開拓使——イギリスの農業技術
- イ. 新橋・横浜間の鉄道敷設——ドイツの技術
- ウ. 長崎造船所——アメリカの工作機械
- エ. 富岡製糸場——フランスの製糸技術

問8 下線部⑧の地券の発行の意義として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 土地の封建的領有制が解体された。
- イ. 田畑勝手作りの禁止が確認された。
- ウ. 田畑永代売買の禁止が確認された。
- エ. 地主が小作を置くことが禁止された。

問9 下線部⑨に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

- ア. 地券の所有者を納税者とした。
- イ. 税率を地価の3%とした。
- ウ. 物納と金納の併用納税とした。
- エ. 課税基準を収穫高から地価に変えた。

C 新政府は王政復古主義のもとで近代化を推進し、宗教政策においても、江戸時代の仏教重視政策を改めて、神仏習合を禁じ、神道を国教とする方針を打ち出した。そのため、一時は廃仏毀釈などの混乱が起こった。新政府はまた、近代化推進のために西洋の技術・制度や学問などをとり入れようとし、それに伴って文明開化の風潮が生じた。この風潮は言論・思想界から教育制度や風俗・習慣にまで及び、東京などでは開化風俗が生まれた。

一方、初期の外交では、政府は岩倉使節団を欧米に派遣するとともに、近隣諸国と日清修好条規や日朝修好条規を締結した。

問10 下線部⑩に該当するものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 諸宗寺院法度
- イ. 禁教令
- ウ. 諸社禰宜神主法度
- エ. 神仏分離令

問11 下線部⑪に該当しないものを、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

- ア. ざんぎり頭
- イ. 天賦人權思想
- ウ. オランダ正月
- エ. 学制の公布

問12 下線部⑫の派遣の目的に該当するものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 条約改正の予備交渉
- イ. 憲法制定のための調査
- ウ. 国境の確定